

# 岩手県感染症週報

平成24年第34週(8月20日～8月26日)

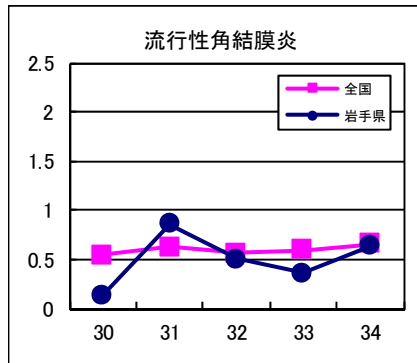
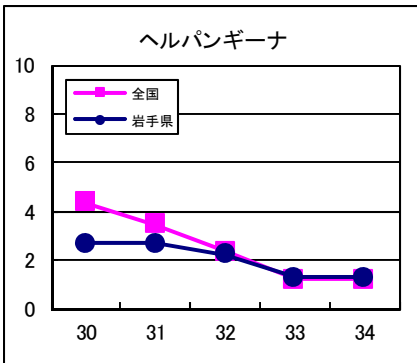
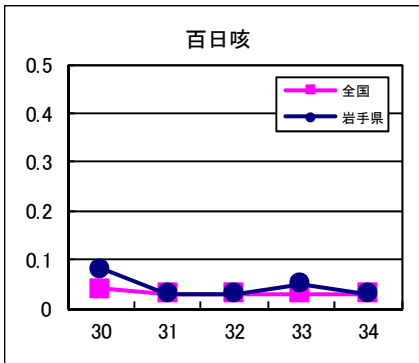
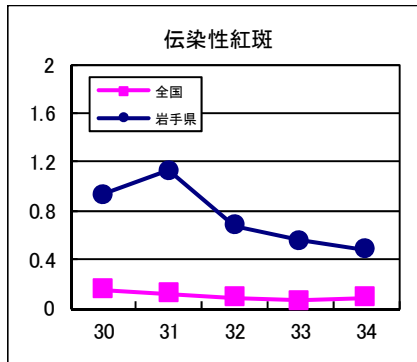
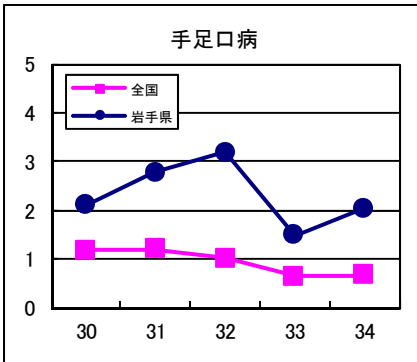
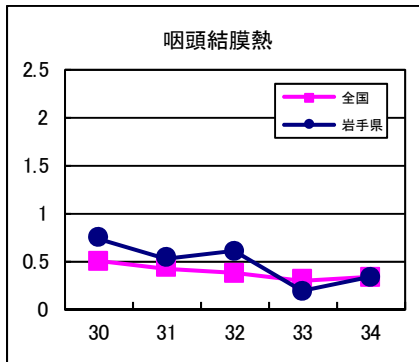
岩手県感染症情報センター

## 第34週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が、7例(潜在性結核感染症 2例) ありました。
- 3 類感染症
  - ・腸管出血性大腸菌感染症は、7例の報告がありました。6月上旬のO121による食中毒の発生以降、7月中旬まで報告がありませんでしたが、7月下旬から報告が続いています。今年これまでの県内の報告数は58例となり、年齢別では9歳以下が18名と約3割を占めています。例年9月以降も患者の報告が続くので、食肉の十分な加熱などによる食中毒の予防と、手洗いによるヒトからヒトへの二次感染の予防が重要です。腸管出血性大腸菌に感染すると激しい腹痛や血便とともに重篤な合併症を引き起こすことがあるので、下痢等の症状がある場合は医療機関を受診することが大切です。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
  - ・関東地区や関西地区では患者が増加しており、県内での発生の動向に注意が必要です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
  - ・手足口病は、前週まで報告数の少なかった奥州および大船渡地区で増加しました。
  - ・ヘルパンギーナは、大船渡地区で多い状況が続いています。
  - ・流行性角結膜炎は、一関地区で報告数が多くなっています。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		30	31	32	33	34		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0.02	0	0.02	→	
	全国	0.26	0.23	0.22	0.25	0.22		
RSウイルス感染症	岩手県	0.2	0.43	0.35	0.35	0.33	→	☆
	全国	0.19	0.26	0.31	0.33	0.37		
咽頭結膜熱	岩手県	0.73	0.53	0.6	0.18	0.33	→	☆
	全国	0.49	0.42	0.37	0.3	0.33		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.7	1	0.68	0.6	0.73	→	☆
	全国	1.15	0.92	0.77	0.57	0.69		
感染性胃腸炎	岩手県	2.85	2.75	2.05	1.7	2.08	→	☆
	全国	3.39	3.21	2.87	2.22	2.94		
水痘	岩手県	0.48	0.93	0.3	0.5	0.2	→	☆
	全国	0.75	0.59	0.55	0.45	0.53		
手足口病	岩手県	2.1	2.78	3.18	1.48	2.03	→	☆
	全国	1.17	1.19	1.01	0.65	0.66		
伝染性紅斑	岩手県	0.93	1.13	0.68	0.55	0.48	→	☆☆
	全国	0.15	0.12	0.09	0.06	0.09		
突発性発疹	岩手県	0.6	0.5	0.4	0.45	0.83	→	☆
	全国	0.69	0.66	0.58	0.46	0.68		
百日咳	岩手県	0.08	0.03	0.03	0.05	0.03	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	2.68	2.68	2.23	1.28	1.3	→	☆
	全国	4.35	3.48	2.35	1.19	1.2		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.33	1.18	1.35	1.5	1.33	→	☆☆
	全国	0.52	0.45	0.41	0.36	0.39		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.07	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.14	0.86	0.5	0.36	0.64	↗	☆
	全国	0.54	0.63	0.56	0.59	0.66		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.07	0.06	0.06	0.05	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.32	1.68	1.16	1.42	1.21	→	☆
	全国	0.98	0.94	0.98	1.14	0.98		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0.05	0.05	0	0	→	
	全国	0.07	0.04	0.04	0.07	0.04		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					累計	全国	
	30	31	32	33	34	34		累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者数	11 (4)	5 (2)	6 (2)	2 (1)	7 (2)	201 (97)	352	18925
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	135
	腸管出血性大腸菌感染症	7	6	7	4	7	58	161	2233
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	18
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	11
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	84
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	120
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	6
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	つつが虫病	0	1	0	0	0	6	0	194
	デング熱	0	0	0	0	0	0	8	104
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	6	67
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
マラリア	0	0	0	0	0	0	3	45	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	2	7	535	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	9	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 30	31	32	33	34	累計	34	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	8	561
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	0	139
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	1	0	4	6	260
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	3	118
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	3	169
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	12	890
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	4	43
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	8
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	1	0	0	0	3	12	546
	破傷風	0	0	0	0	0	0	3	70
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	59
	風しん	0	0	0	1	0	1	73	1333
	麻しん	0	0	0	0	0	2	9	233

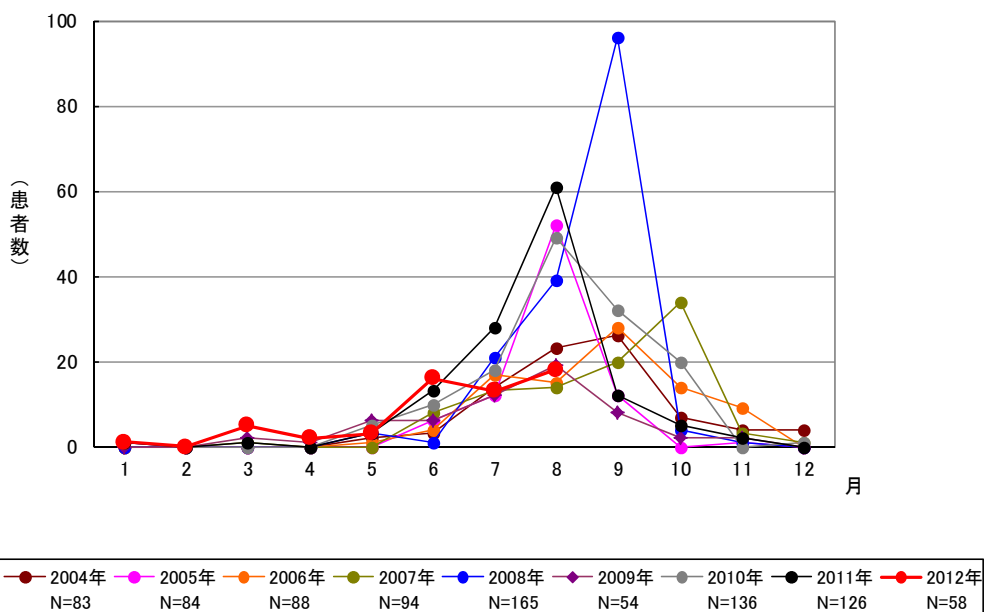
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第34週までに58例が報告されています。性別では男性が31例、女性が27例であり、年齢層別では0～9歳が18例、10～19歳が12例、20～59歳が19例、60歳以上が9例となっています。分離された大腸菌の血清群別ではO157が24例、O26が16例、O121が13例、O111が2例、その他が3例となっています。

毎年、夏季に報告が多いので、食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要です。オムツの交換時の手洗い、簡易プールの衛生管理、動物の接触後の十分な手洗いにも注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数 (岩手県2004年～2012年)



今注目の感染症 (つづき)

風しん

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。一般的には数日で治癒する予後良好な疾患です。妊婦が妊娠初期に感染すると、胎児も感染し、出生児に先天性風しん症候群と総称される障害を起こすことがあります。

風しんは特異的な治療法はないものの、ワクチンで予防可能な感染症で、定期予防接種は、1歳児（第1期）、小学校入学前1年間の幼児（第2期）、中学1年相当・高校3年相当の年代（第3・4期、2008～2012年の5年間のみ）となっており、これら以外の方で接種を希望される場合には医療機関にお問い合わせください。

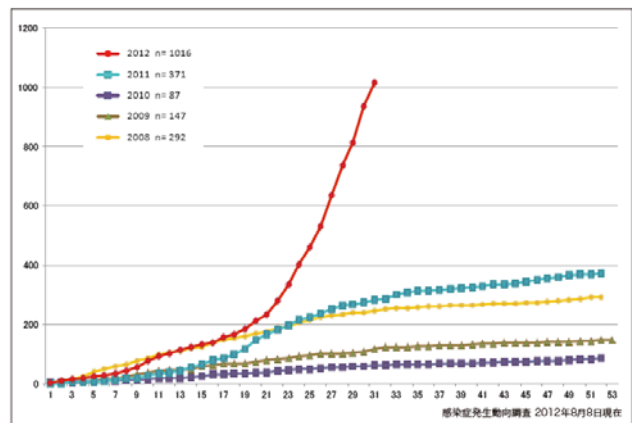
岩手県内における風しんの届出状況(平成20年1月～平成24年8月)

診断日	保健所	性別	年齢	備考
平成24年8月9日	奥州	男	14	臨床診断例
平成23年3月23日	盛岡市	男	21	検査診断例
平成22年12月27日	一関	男	5	臨床診断例
平成20年12月26日	奥州	男	34	検査診断例
平成20年6月17日	中部	男	6	臨床診断例
平成20年6月9日	中部	男	7	臨床診断例

風しんは、平成20年1月から全数把握疾患となり、県内では今年第34週までに6例の報告がありました。

平成20年1月1日から麻疹は、全数把握疾患に変更されました。

図に全国の風しんの発生状況を示しました。今年は、関西、関東で患者が多発しており、第20週から報告数が急増し、第1～31週の累積報告数は1016例となっております。この患者数は2008年以降最も報告数が多かった昨年の年間患者数よりも多く、昨年の同時期の累積報告数(283例)の3.6倍です。詳しくは国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html

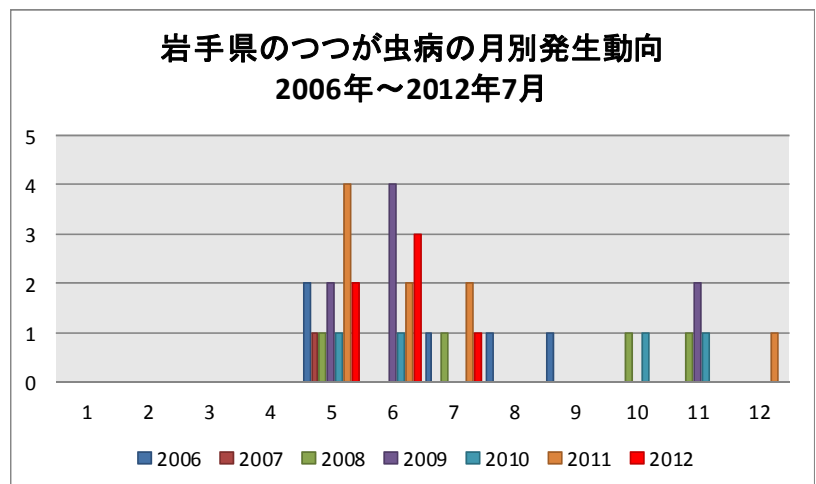


IDWRから引用

つつが虫病

つつが虫病リケッチアに感染したツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されることにより感染します。岩手県での発生数は初夏と秋の二つのピークがあります。症状は、発熱、リンパ節肥大、発疹などで、刺し口を証明するのが診断のポイントですが、無いこともあります。

農作業や山菜取りの際には肌の露出を少なくし、帰宅後には速やかに入浴やシャワーにより体表を洗い流すことが大切です。また、野外活動後に発熱、発疹、頭痛といった症状があり感染が疑われた場合には早期の受診が勧められます。



## 病原体検出情報

- ・細気管支炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトメタニューモウイルスを1件検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便から、アストロウイルス1型を1件検出しました。
- ・難治性下痢症の患者の便1検体から、ヒトパレコウイルス1型およびライノウイルスが重複して検出されました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液からエンテロウイルス71型を1件検出しました。
- ・アデノウイルス感染症の患者の咽頭ぬぐい液からアデノウイルス3型を1件分離検出しました。
- ・気管支炎の患者の咽頭ぬぐい液から、パラインフルエンザ2型を1件検出しました。

## 集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

## 医療機関からの情報

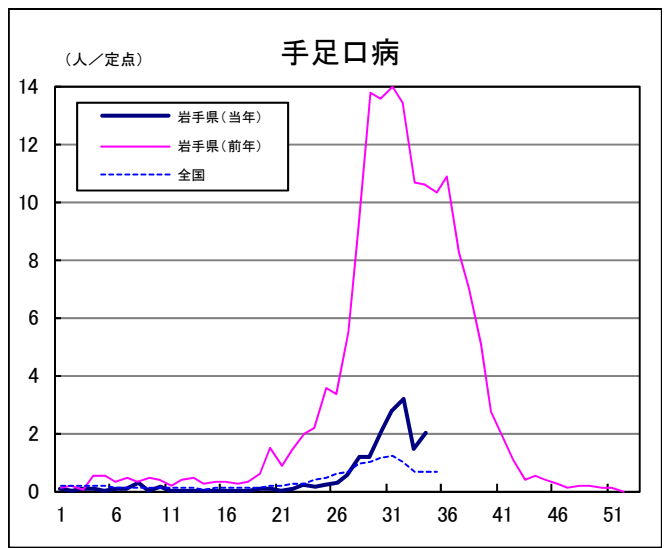
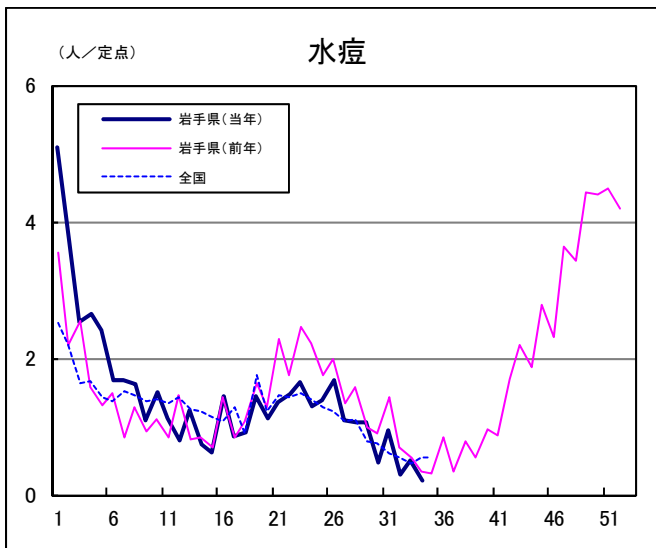
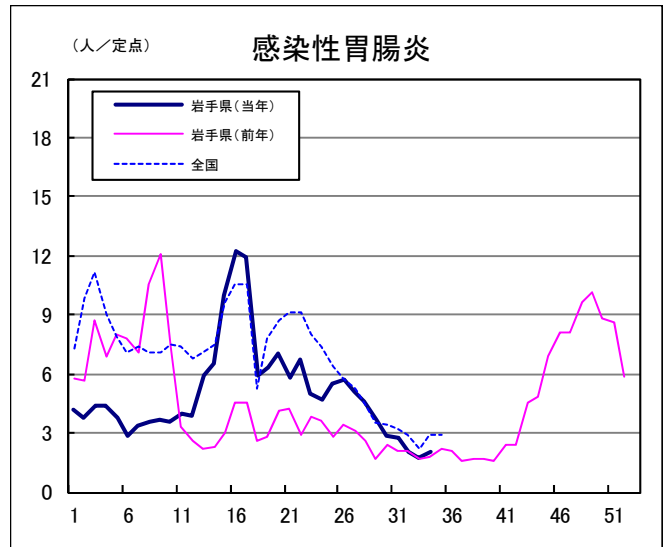
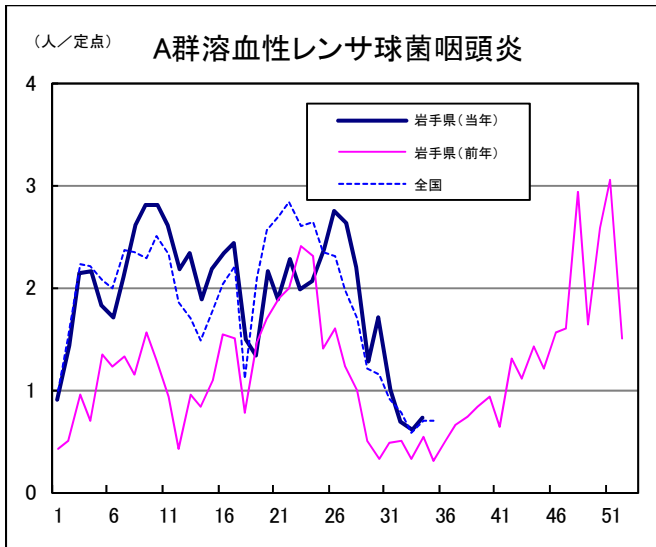
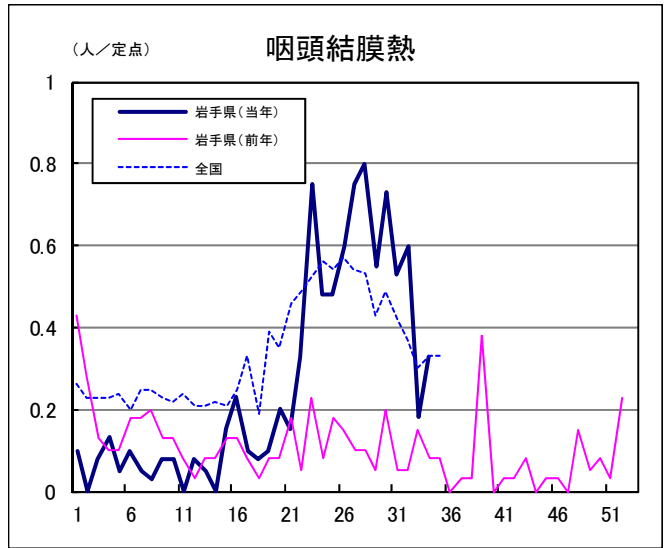
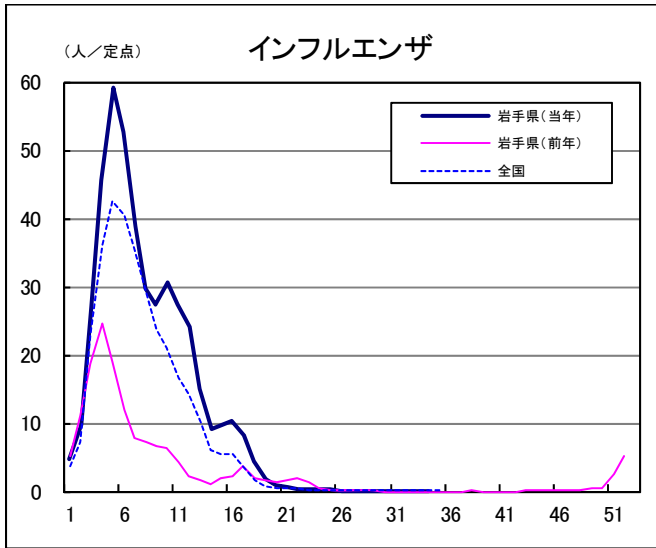
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

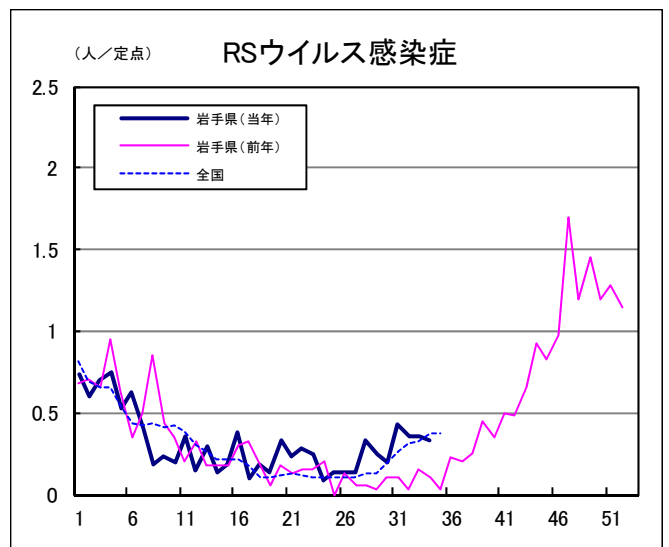
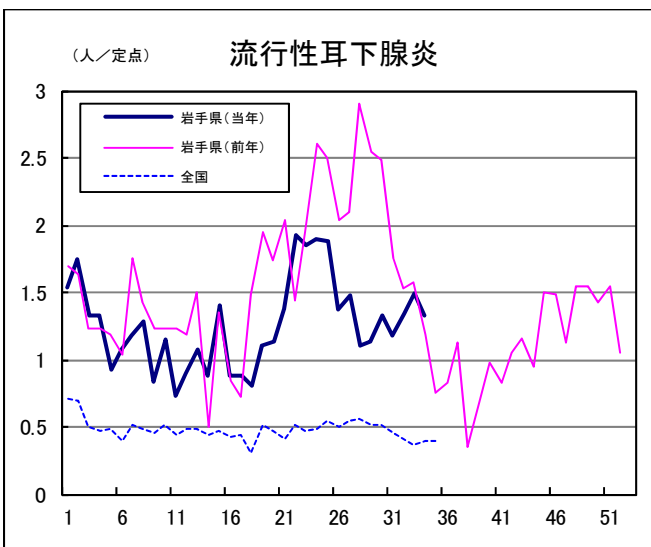
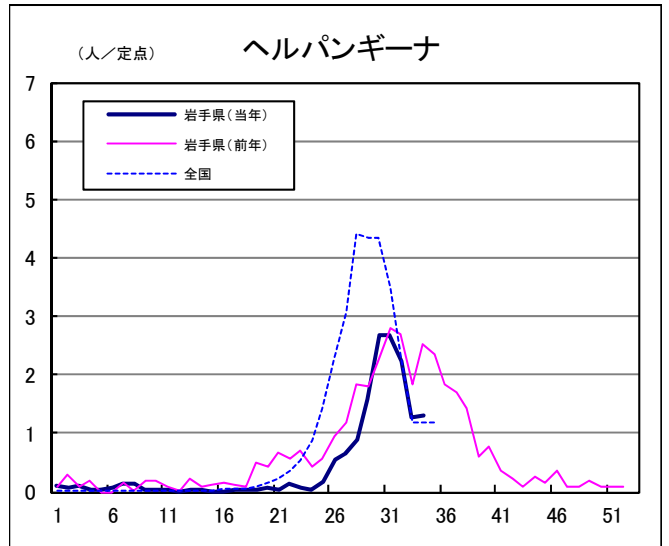
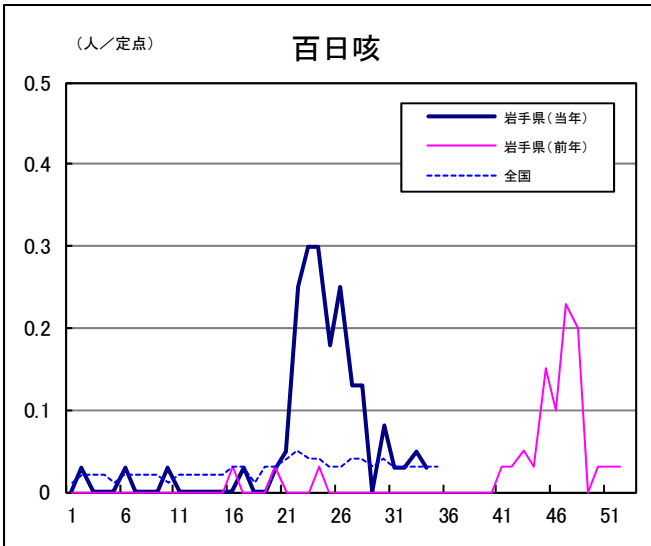
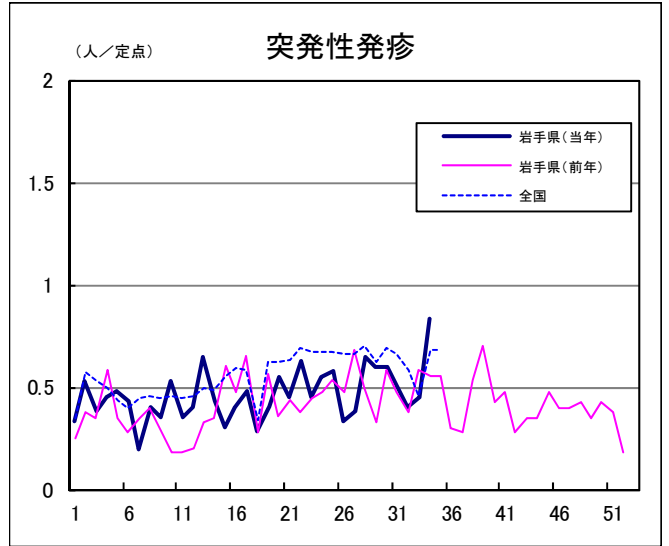
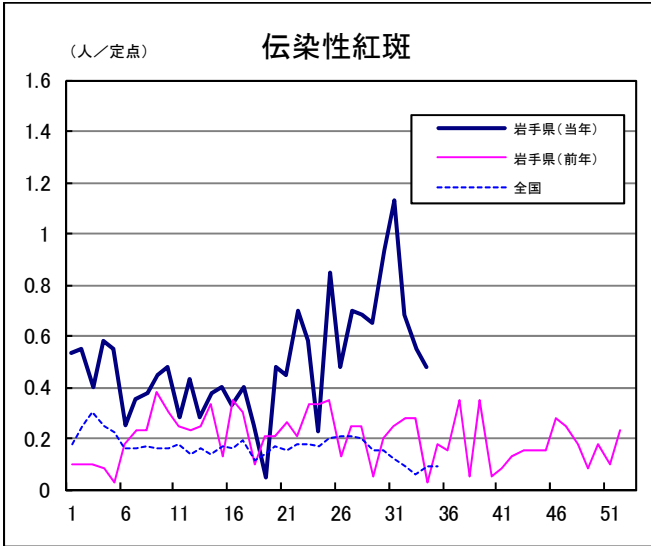
## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

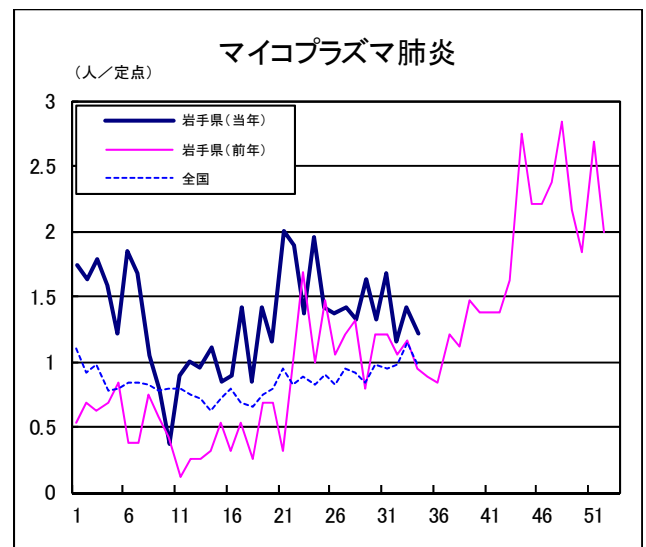
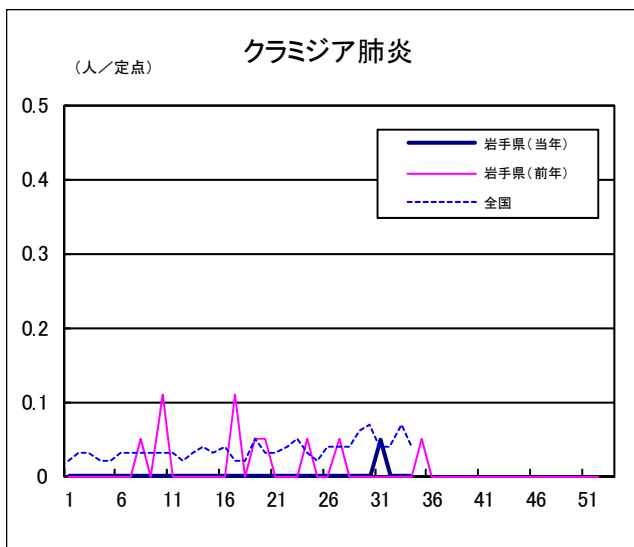
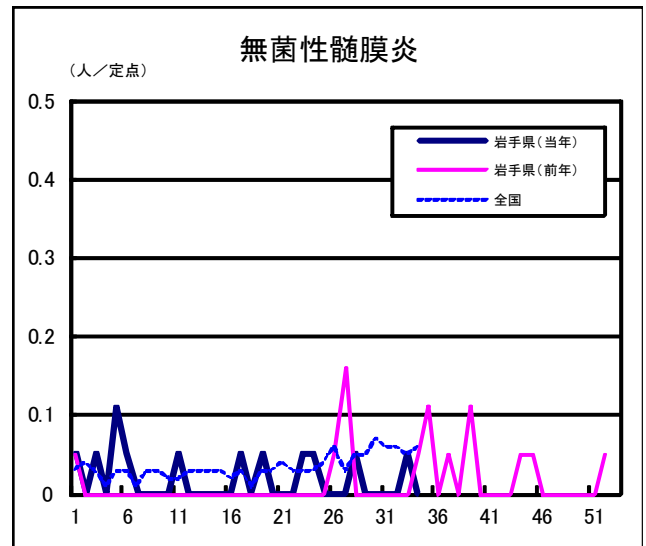
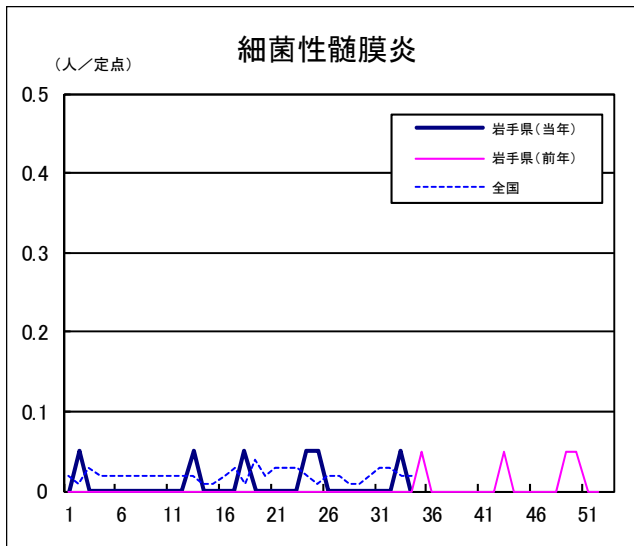
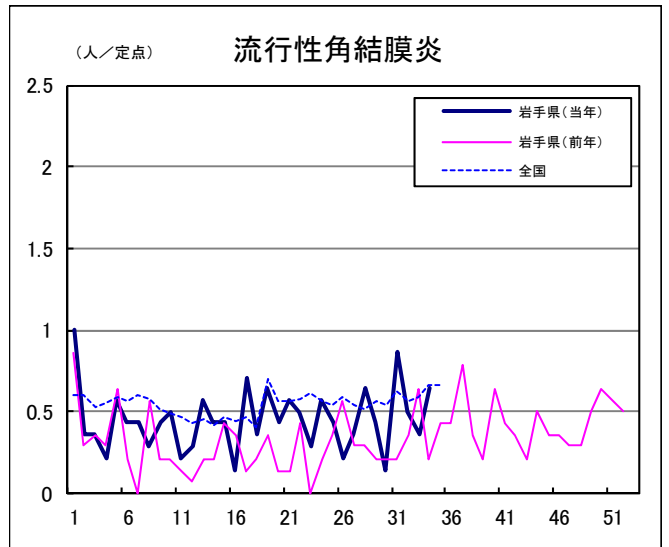
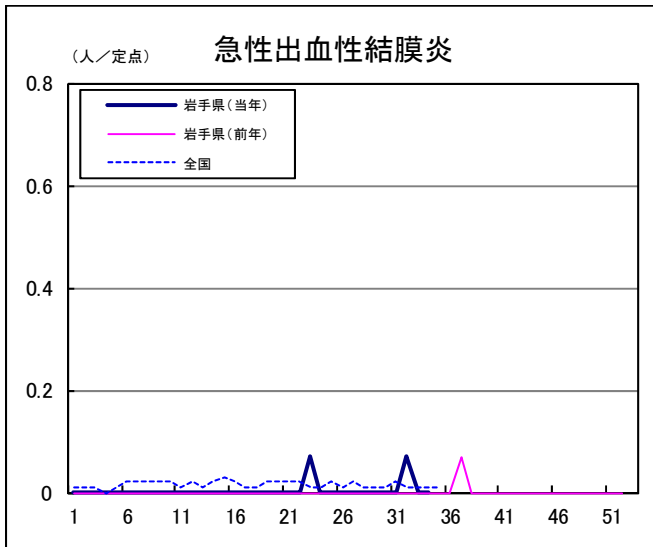
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)



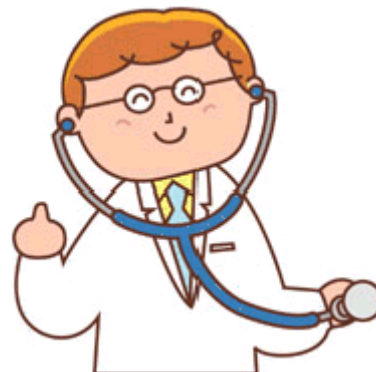






定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第34週 平成24年8月31日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)  
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>